

07.スルタン・サラフディン・アブドゥル・アジズ・モスク(ブルーモスク)



正式名称は、スルタン・サラフディン・アブドゥル・アジズ・モスク。

モスクがあるセランゴール州の8代目スルタン(王)の名前に由来しています。

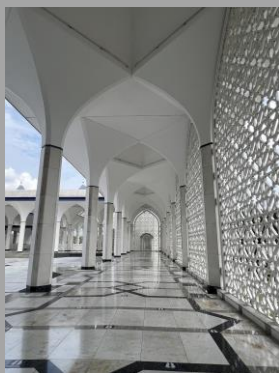
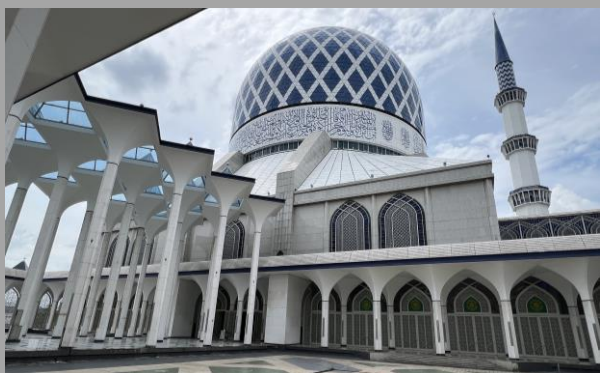
メインのドームや内部のステンドグラス、タイルなどが青い色をしていることから、通称「ブルーモスク」とも呼ばれております。

精緻な計算でシンメトリーに配置された巨大な白い柱が並ぶ礼拝堂へ続く順路など、神秘的な内装が特徴的でした。

ブルーモスクは、マレーシア最大のモスクであり、その巨大さを感じさせるのがモスクの上に鎮座する青いドームです。

そして、ドームの周りには世界最大級の高さを誇る白い(※1)ミナレットが、ずらりとそびえたっています。

国内最大のモスクですが、ピンクモスクに比べ圧倒的に人が少なく静かな印象でしたので神聖な空間を感じることができました。



※1. ミナレット イスラム教の宗教施設に付随する塔

佐藤尚治

